

# 市自連ニュース

令和5年3月15日(第31号)

発行：座間市自治会総連合会

発行責任者：湯浅 一弘

〒252-0021

座間市緑ヶ丘1-1-1 ふれあい会館2階

電話/FAX：046-252-8751

URL <http://shijiren-zama.com/>

Eメール [shijiren-zama@nifty.com](mailto:shijiren-zama@nifty.com)

回  
覧



## 自治会員への優待制度、はじめます

市自連は令和5年度から自治会員優待制度を開始するため、現在準備をしています。市自連だより「ふれあい」第77号でもご案内しましたが、具体的には会員に会員カード(右図)をお配りし、協賛いただいたお店でカードを提示することで、店舗が提供するサービスを受けられる制度です。カードには「ざまりん」と一緒に、新たに自治会(市自連)キャラクターとして作成し、市内小学生が名付け親になってくれた「つぼみん」(ひまわりの蕾の妖精)が初お目見えです。

協賛いただいているお店は、ホームページ(QRコード)からご覧になれます。今後も継続して協力店舗を募り、会員の皆様に、そして協賛いただくお店にも、より多くのメリットを感じていただけるようにしていきます。



## 単位自治会の活動をよりサポートさせていただくために

市自連を構成する自治会は、現状、地区自連に属する自治会だけであり、地区自連を退会すると市自連からも退会するルールになっています。

地区自連の一員として、単独では実施しにくい地区の行事に参加したり、市自連が提供する防災等の情報を活用したり、困り事は事務局に相談いただく等が望ましいのですが、様々な理由で地区自連から退会せざるを得ない自治会があっても、市自連に留まって市自連を活用し続けられるよう、令和5年度以降の運用を目指しルール改定を協議しています。改定案では、地区自連が担っている市自連理事選出等の人的負担は軽減される一方、市自連への会費は、現状より若干増額の見込みです。詳細は、事務局にお問い合わせください。

## ご存じですか？座間市の「環境美化等推進団体報奨金制度」

ごみの集積所の維持管理や美化活動、資源回収など行なう団体に対し、市が報奨金を支払う制度です。

1 団体につき上限 6 万円

- ・集積所維持管理 1カ所につき1,000円/年(上限2万円)
- ・美化清掃 2回目以降、1回につき1,000円(上限1万円)
- ・資源回収 1回につき2,000円(上限2万4千円)
- ・その他の活動 計画内容に応じて市が定める額(上限1万円)

制度を活用し自治会活動に役立てましょう！

詳細は座間市ホームページ[トップページ](#) > [くらし・手続き](#) >

[資源物・ごみ](#) > 清掃活動・個別収集 からご確認ください。



ゴミ集積所の管理・清掃の様子

※他にも集会所や掲示板などのための行政の補助金や(一財)自治総合センターのコミュニティ助成事業など、自治会が活用できる制度があります。

詳しくは市自連HP→お役立ちツール→自治会長研修資料(P7、8、12)をご参照ください。

**市内一斉防犯パトロールを実施<立野台地区自連>** 実施日：令和4年12月4日（日）  
参加者：17名

「立野台地区自治会連合会」は九つの自治会で構成しています。当地区では、令和4年12月4日(日)の“市内一斉防犯パトロール”を午後3時から午後4時30分まで、立野台小と中原小の学区エリアを中心に参加者17名が2班に分かれて実施しました。

当日は、小学校の先生や地域住民の方、各自治会長が参加して、塩谷地区自連会長をはじめ「振込め詐欺、空き巣、火の用心、不審者」などの注意喚起を全員で呼びかけながら巡回しました。



**相模が丘第一自治会 どんど焼き** 実施日：令和5年1月8日（日）参加者：約300人

令和5年1月8日、相模が丘第一自治会は「どんど焼き」を開催しました。

盛況に執り行うことができ、300人余りの方々が参加しました。「どんど焼き」はお正月のお飾りなどをお焚き上げる為に欠かせない行事です。新型コロナが猛威を振るっているときでも、毎年1月初めの実施を続けてきました。さすがに、汁粉や甘酒は断念していましたが、今年は紅白団子、御神酒、お菓子をふるまうことができ、徐々にコロナ前の状況に戻りつつあります。来場者から頂いた募金は毎年福祉施設へ寄付しています。

第一自治会の「どんど焼き」の特徴は、団子を刺す串にあります。一般的には笹の枝などを利用しますが、なんと、長さ60cm、直径4mmの鋼鉄棒を使用します。笹の串は燃えたり、くすぶって団子が煤だらけになったりして扱いがなかなか難しいですが、鋼鉄の棒はしっかり団子を焼くことができ、美味しく仕上げられます。この鋼鉄棒は廃材利用で、当初300本ほどあったのですが、徐々に減っています。また、どこかで廃材を探して、来年の為に補給しなければなりませんね。



廃材利用の鋼鉄棒



上手に焼けるかな～



**自主防災組織リーダー等研修会** 実施日：令和4年11月22日（火）

当日は自主防災組織の意義、役割について講義を受けたあと、実技訓練では瓦礫の下敷きになっている人形を被災者に見立てて救出訓練を行ったり、物干しと毛布で簡易担架を作り被災者運搬訓練をしました。また防災体験フロアで震度7の地震や風速30m/秒の強風の体験もしました。

午後は避難所運営ゲーム（HUG）を体育館や教室に見立てた図面上で避難所の運営をゲーム形式で学びました。

この研修会で学んだ事を今後の地域防災に役立てていけたら良いと思います。



簡易担架での運搬訓練



瓦礫下の被災者救出訓練



避難所運営ゲーム（HUG）